

平成29年度学校運営計画書

学校名 東山東小学校

校長名 柑本康生

作成日 平成29年5月2日

学校教育目標

生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成

実行する子ども

心の豊かな子ども

考える子ども

開かれた学校

ゆたかな心・健康な体

確かな学力

<p>本年度の重点目標</p>	<p>○地域の方々や外部講師とのふれあいの機会を増やし、それを通して子ども達が視野を広げ、ものごとを考えたり、自分の意見を持つ素地や能力を育成する。</p>	<p>○道徳・総合的な学習の時間・特別活動及び全ての教科を通して自分を大切に作る心の育成と同時に、他者を思いやる心や物事に対して感動する豊かな心を培い、健やかな日常生活を送ることができる健康な体の育成を目指す。</p>	<p>○学習習慣を確立し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題解決をしていく子どもの育成と共に言語活動の充実を図る。</p>
<p>目標達成に向けた具体的な方策</p>	<p>○学校が行っている教育活動等を機会を見つけて数多く発信し、保護者や地域の方々に周知して頂き、学校の様子を積極的に知らせ、子ども達とのふれあいの場を多く設ける。 ○地域に居住する方々の協力を得て、できる限り教育資源として活用させて頂く。 ○四季の郷公園のイベントや、山東まちづくり会などの地域の活動に積極的に参加し交流を深める。 ○昨年度に引き続き、外国語活動を全学年で行いその中で外国人の方に授業に入って頂き、言語の違いや文化の違いを体感する。 ○学校評議員・学校関係者評価委員さんに毎月の学校行事のお知らせを届け、可能であれば来校頂き、ご意見を頂戴し学校運営に活かす</p>	<p>○遠足や運動会における活動単位としての他学年の縦割り活動を通して、リーダーシップや他者を思いやる心を育てる。 ○「わたしたちの道徳」を活用した授業を通して、物事に感動する心や豊かな情操を育てる。 ○児童会を中心とした「朝の挨拶」運動を通して他者との関わりを数多く持つ機会を増やす。 ○体育の授業において、必ずかけっこやランニングを取り入れ体力、持続力の増進を図る。 また、学年に応じたボール投げ等を持続的に行い、楽しい雰囲気の中で体力作り、筋力作りを行う。 ○学年遊びや交流学年遊びを行い、体力作りの機会にすると共に協力や思いやりの心の育成を図る。</p>	<p>○外国語活動や全ての教科を通して、自分の考えを効果的に相手に伝えられるような態度を養う。 ○「和歌山県の授業基礎基本3カ条」を実践し毎時間の授業を充実させる。 ○毎日の授業を大切にして、毎時間、必ず「めあて」を設けて、その「めあて」が達成できたかを子どもに確認させ、子どもの成就感を持たせる授業を毎時間、展開させる。 ○「紀州っこ学びノート」の積極的な活用を図る。 ○出前授業や校外学習の機会を増やし、子どもが興味を持って学習に取り組める環境をつくる。 ○「家庭学習の手引き」を、機会あるごとに、保護者に配布、説明し、家庭学習の大切さの理解を求め、家庭の協力を仰ぐ。</p>